



せいひ会だより

2014年(平成26年)
8月1日発行
<第172号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



7月の行事

- 07日 七夕 (GH・風和・寿限無)
- 07日 七夕そめん流し(通所・じゅげむ)
- 14日 陶芸教室(通所)
- 20日 収穫祭(GH)
- 21日 誕生会(元亀・通所)



8月の行事予定

- 02日 納涼祭(風和)
- 03日 夕涼み会(GH)
- 11日 陶芸教室(通所)
- 18日 誕生会(元亀・通所)
- 22日 運営推進会議(GH)



「東日本大震災支援基金」 募金のお礼

各施設の窓口に設置しておりました募金箱に、多くの皆様から義援金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。総額8,276円の義援金は、7/15付で日本財団へ寄付致しましたことをご報告いたします。更なる復興支援のため、各施設窓口に引き続き募金箱を設置しておりますので、ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

☆7月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



昭和3年、風早郷切崎に9人兄弟の4番目として生まれる。小さい頃から小柄で、小学校では並べば一番前だったそうだ。泳ぎは得意で、近くの海で泳いだりと外で遊ぶことが多かった。また、兄弟の面倒もよくみていたとのこと。

白似田小学校卒業後は、青年学校で裁縫を習った。学校卒業後は家の農業を手伝ったり、日雇いに出て働いたそうだ。

22歳の頃に結婚し、4人の子供に恵まれた。ご主人と一緒に農業と漁業で生計を立てた。「船に乗ってよく漁に出ました」「昔は魚がたくさん獲れました」とのこと。

現在は長男夫婦と同居。昨年、庭先で転んで転倒し入院される。退院後は、大好きなカゴ作りに熱中されており、「今はしたかことばしています」「今度は転ばんごと用心せんばと思ってます」とのこと。また、「沢山の孫やひ孫に囲まれて幸せです」と話されていた。

今年から通所リハビリを利用され、知人との会話やレクリエーションを楽しめている。他利用者と一緒にカゴ作りをしたいと希望あり。ぜひ通所リハビリでカゴの作り方を教えていただければと思います。これからも通所リハビリをご利用ください。

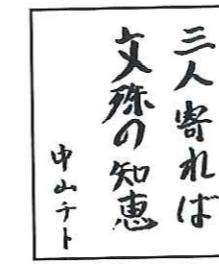
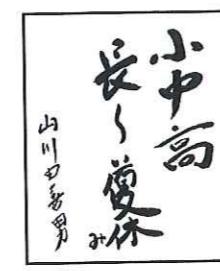
お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティ・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバシリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間



元亀 山川由喜男

元亀 中山テト



風和 作中和子

風和 山脇カナ



じゅげむ 内山末子

じゅげむ 高松恵美子

寿限壽 利用者作品



貼り絵【花火】



【ひまわりのカレンダー】



【アサガオの簾】

そうめん流し



夏の風物詩・そうめん流し。今年も各事業所で行われました。皆さん、流れてくるそうめんをつかむのに必死で、目線がなかなかカメラに向きません。中には、慌てるあまりに、流れてくるそうめんを箸で止めずにつぶが入った入れ物で止めた方もいたようです。

中山郷夏越し祭り



7/26、中山神社で行われた夏越し祭り。去年までは職員の演技「同期の桜」で参加していましたが、今年はちょっと趣向を変更!真っ黒な覆面姿に首からはレイを下げた、怪しげな二人組が登場。不思議な出で立ちながらも、「涙そうそう」にのせた「健康体操」を披露してくれました。お祭りに参加されていたお年寄りからちびっこまで、みんな体を動かして楽しんでいました。

収穫祭

グループホームの利用者の皆さんが、手塩にかけて育てた野菜たち。立派に育ったので、収穫祭を行いました。



採れた野菜は、じゃがいも・ピーマン・トマトなどなど…。食べるだけではなく、顔を書いて「こけし」にも変身しました。なんとも味のあるこけし達。見てかわいい・食べておいしいと、利用者の皆さんを2度も楽しませてくれました。

化粧まわしがやってきた!



昔活躍した長崎出身の力士・佐田の山を御存じでしょうか?今回、外部の方からの取り計らいにより、佐田の山が現役時代に使っていた「化粧まわし」が、元亀の里・風和の里にお見えしました。なかなか間近で見る機会がないので、利用者の皆さんも興味津々。「実物はこんなに長いとねー」と、感心しながら眺められていきました。

どの子が
お好み??



オヤジ 敏美 の独り言

あっぱれ!!



小規模多機能じゅげむで行われた「カレー作り」や「そうめん流し」で、利用者の皆さんが料理を披露。とにかく手際が良く、職員一同びっくり!さすが「人生の先輩」、いやいや「偉大なる母たち」と感動しました。

サービスの質が問われている昨今。こういった「楽しみながらできること」「生きがいを持ってできること」を、サービスに取り入れていくことの大切さを痛感しました。料理をしている時の、利用者の方々の目は「イキイキ」としていて、まるで【アニメーションの少女の目のよう】「キラキラ」☆としていました。(微笑)

今後も高齢者にとって「楽しみのある場」を提供していきたいと、強く思った今月でした。(会釈)